

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
 コード番号 8729 URL <http://www.sonyfh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井原 勝美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 清宮 裕晶 TEL 03-5785-1074
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	357,312	17.8	18,952	△13.8	12,834	△11.9
27年3月期第1四半期	303,250	△3.1	21,980	29.1	14,562	50.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,420百万円 (△76.0%) 27年3月期第1四半期 22,629百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	29.50	—
27年3月期第1四半期	33.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,732,988	538,692	5.5
27年3月期	9,545,868	550,672	5.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 537,394百万円 27年3月期 549,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300,000	△3.9	85,000	△5.6	57,000	4.7	131.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「1. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	435,000,000株	27年3月期	435,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	55株	27年3月期	55株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	434,999,945株	27年3月期1Q	434,999,945株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、10ページの「注意事項」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
2. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	
2015年度第1四半期連結業績およびソニー生命の2015年6月末MCEV.....	11

※ 当社は、2015年度第1四半期連結業績についての国内機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの様相については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ（下記URL ご参照）に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

「2015年度第1四半期連結決算説明会」
 (2015年度第1四半期連結業績およびソニー生命の2015年6月末MCEV)

開催予定日時 : 平成27年8月7日（金）16:00～

当社ホームページURL : <http://www.sonyfh.co.jp/>

※ ソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社は、本日それぞれ2015年度第1四半期業績を発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください（当社ホームページからもご参照いただけます）。

ソニー生命ホームページURL : <http://www.sonylife.co.jp/>

ソニー損保ホームページURL : <http://www.sonysonpo.co.jp/>

ソニー銀行ホームページURL : <http://sonybank.net/>

1. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	134,803	104,711
コールローン及び買入手形	77,234	77,566
金銭の信託	336,842	320,131
有価証券	7,377,545	7,548,920
貸出金	1,349,586	1,389,612
有形固定資産	123,083	122,693
無形固定資産	33,366	32,173
のれん	99	79
その他	33,266	32,093
再保険貸	297	198
外国為替	2,224	682
その他資産	102,756	124,619
退職給付に係る資産	3,005	3,052
繰延税金資産	6,545	10,078
貸倒引当金	△1,422	△1,454
資産の部合計	9,545,868	9,732,988
負債の部		
保険契約準備金	6,879,055	7,059,193
支払備金	61,114	63,660
責任準備金	6,813,749	6,991,137
契約者配当準備金	4,191	4,396
代理店借	2,450	2,028
再保険借	675	535
預金	1,872,860	1,866,481
コールマネー及び売渡手形	6,000	6,000
借入金	20,000	20,000
外国為替	46	67
社債	20,000	20,000
その他負債	122,340	149,297
賞与引当金	3,395	1,588
退職給付に係る負債	24,558	25,028
役員退職慰労引当金	338	263
特別法上の準備金	42,969	43,305
価格変動準備金	42,969	43,305
再評価に係る繰延税金負債	503	503
負債の部合計	8,995,195	9,194,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,900	19,900
資本剰余金	195,277	195,277
利益剰余金	212,124	207,559
自己株式	△0	△0
株主資本合計	427,301	422,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,166	119,394
繰延ヘッジ損益	△2,086	△1,900
土地再評価差額金	△1,480	△1,480
為替換算調整勘定	0	1
退職給付に係る調整累計額	△1,522	△1,357
その他の包括利益累計額合計	122,078	114,657
非支配株主持分	1,292	1,298
純資産の部合計	550,672	538,692
負債及び純資産の部合計	9,545,868	9,732,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
経常収益	303,250	357,312
生命保険事業	269,855	323,250
保険料等収入	220,371	254,240
資産運用収益	48,039	67,593
(うち利息及び配当金等収入)	32,444	35,250
(うち金銭の信託運用益)	1,322	3,148
(うち有価証券売却益)	195	3,631
(うち金融派生商品収益)	9	—
(うち特別勘定資産運用益)	14,065	24,781
その他経常収益	1,444	1,416
損害保険事業	24,116	24,759
保険引受収益	23,803	24,432
(うち正味収入保険料)	23,434	24,375
(うち積立保険料等運用益)	11	13
(うち支払備金戻入額)	357	43
資産運用収益	303	315
(うち利息及び配当金収入)	310	323
(うち有価証券売却益)	3	6
(うち積立保険料等運用益振替)	△11	△13
その他経常収益	9	10
銀行事業	9,278	9,303
資金運用収益	6,535	6,323
(うち貸出金利息)	3,477	3,557
(うち有価証券利息配当金)	3,029	2,742
役務取引等収益	1,198	1,491
その他業務収益	1,394	1,379
(うち外国為替売買益)	565	987
その他経常収益	150	107
経常費用	281,269	338,359
生命保険事業	252,940	308,876
保険金等支払金	74,460	91,397
(うち保険金)	18,123	22,063
(うち年金)	2,524	2,600
(うち給付金)	10,400	11,054
(うち解約返戻金)	42,288	51,970
(うちその他返戻金)	655	3,227
責任準備金等繰入額	143,462	176,772
支払備金繰入額	1,437	2,590
責任準備金繰入額	142,024	174,181
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	1,900	3,939
(うち支払利息)	6	8
(うち売買目的有価証券運用損)	—	59
(うち金融派生商品費用)	—	2,097
事業費	27,474	30,495
その他経常費用	5,643	6,271

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
損害保険事業	21,242	22,457
保険引受費用	15,940	16,481
(うち正味支払保険金)	11,170	11,268
(うち損害調査費)	1,656	1,739
(うち諸手数料及び集金費)	262	267
(うち責任準備金繰入額)	2,850	3,205
資産運用費用	0	1
(うち有価証券売却損)	0	1
営業費及び一般管理費	5,300	5,973
その他経常費用	1	1
銀行事業	7,086	7,025
資金調達費用	2,367	2,313
(うち預金利息)	1,225	1,243
役務取引等費用	451	522
その他業務費用	27	0
営業経費	4,229	4,124
その他経常費用	10	65
経常利益	21,980	18,952
特別損失	331	336
固定資産等処分損	23	0
減損損失	0	0
特別法上の準備金繰入額	308	336
価格変動準備金繰入額	308	336
契約者配当準備金繰入額	146	357
税金等調整前四半期純利益	21,502	18,258
法人税及び住民税等	6,339	5,981
法人税等調整額	588	△563
法人税等合計	6,927	5,417
四半期純利益	14,574	12,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,562	12,834

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	14,574	12,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,807	△7,771
繰延ヘッジ損益	17	185
為替換算調整勘定	△0	0
退職給付に係る調整額	229	165
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	8,054	△7,420
四半期包括利益	22,629	5,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,617	5,413
非支配株主に係る四半期包括利益	12	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計
経常収益				
(1) 外部顧客に対する 経常収益	269,855	24,116	9,278	303,250
(2) セグメント間の 内部経常収益	713	0	45	758
計	270,568	24,116	9,324	304,009
セグメント利益	17,481	2,711	1,739	21,931

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計
経常収益				
(1) 外部顧客に対する 経常収益	323,250	24,759	9,303	357,312
(2) セグメント間の 内部経常収益	713	0	55	769
計	323,963	24,759	9,358	358,081
セグメント利益	14,915	2,122	1,864	18,902

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
報告セグメント計	21,931	18,902
セグメント間取引の調整額	1	1
事業セグメントに配分していない損益 (注)	47	48
四半期連結損益計算書の経常利益	21,980	18,952

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る損益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

当社の連結業績※は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連結 : ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社、ソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、
ソニー銀行株式会社、ソニーペイメントサービス株式会社*、SmartLink Network Hong Kong Limited
持分法適用 : ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社、SA Reinsurance Ltd.

*株式会社スマートリンクネットワークは、平成27年4月1日付けでソニーペイメントサービス株式会社に商号変更しました。

注意事項

本資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しを見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。

また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

3. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

2015年度 第1四半期連結業績 およびソニー生命の2015年6月末MCEV

2015年度第1四半期 連結業績	3
2015年度 連結業績予想	28
ソニー生命の2015年6月末MCEVおよび経済価値ベースのリスク量	30
参考情報	33

【プレゼンテーション資料】

2015年度第1四半期 連結業績 および ソニー生命の2015年6月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2015年8月7日

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

目次

■ 2015年度第1四半期 連結業績	P.3
■ 2015年度 連結業績予想	P.28
■ ソニー生命の2015年6月末MCEV および 経済価値ベースのリスク量	P.30
■ 参考情報	P.33

免責事項:

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見直しを見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

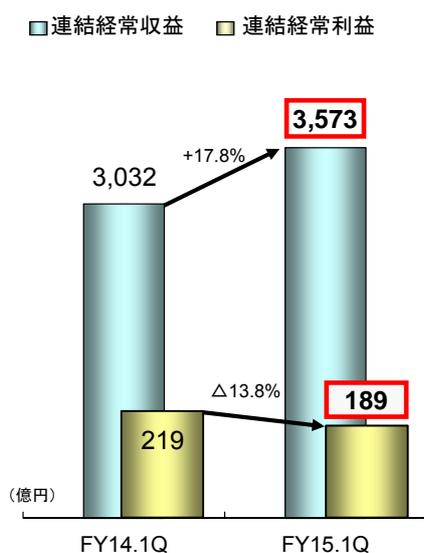
※本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示しています。

また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示しています。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

2015年度第1四半期 連結業績

連結業績ハイライト①



		(億円)		前年同期比	
		FY14.1Q	FY15.1Q		
生命保険事業	経常収益	2,705	3,239	+533	+19.7%
	経常利益	174	149	△25	△14.7%
損害保険事業	経常収益	241	247	+6	+2.7%
	経常利益	27	21	△5	△21.7%
銀行事業	経常収益	93	93	+0	+0.4%
	経常利益	17	18	+1	+7.2%
セグメント間の 内部経常収益・ 利益(※1)	経常収益	△7	△7	△0	—
	経常利益	0	0	+0	+2.7%
グループ連結	経常収益	3,032	3,573	+540	+17.8%
	経常利益	219	189	△30	△13.8%
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	145	128	△17	△11.9%

(※1) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益

(※2) 包括利益: FY14.1Q...226億円、FY15.1Q...54億円

		(億円)		前年度末比	
		15.3末	15.6末		
グループ連結	純資産	5,506	5,386	△119	△2.2%
	総資産	95,458	97,329	+1,871	+2.0%

連結業績ハイライト②



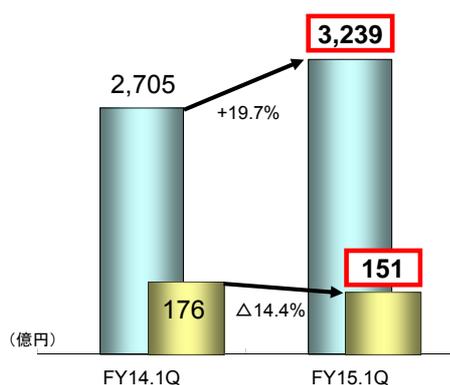
<前年同期比分析>

- 生命保険事業:第1 四半期(4月~6月期)としては過去最高の新契約高を更新し、保有契約高も堅調に推移。経常収益は、保険料等収入が増加したことに加え、好調な市況を受けて特別勘定の資産運用収益が増加したことにより、増収。経常利益は、一般勘定における有価証券売却益や利息及び配当金等収入が増加したものの、変額保険に係る責任準備金繰入額や保険金等支払金の増加により、減益。
- 損害保険事業:主力の自動車保険を中心に正味収入保険料が増加したことにより、経常収益は前年同期に比べて増収。経常利益は、経常収益が増加したものの、事業費の増加などにより、前年同期に比べて減益。
- 銀行事業:外貨関連取引および住宅ローンにかかる収益が増加したことにより、経常収益、経常利益ともに増加。
- 連結経常収益は、生命保険事業、損害保険事業、および銀行事業のすべての事業で増加し、3,573 億円(前年同期比17.8%増)。経常利益は、銀行事業において増加したものの、生命保険事業および損害保険事業において減少した結果、189 億円(前年同期比13.8%減)。親会社株主に帰属する四半期純利益は、128 億円(前年同期比11.9%減)。

ソニー生命 業績ハイライト(単体)



□ 経常収益 □ 経常利益



- ◆ 前年同期比 経常収益は増収、経常利益は減益。
- ◆ 保険料等収入は、保有契約高が堅調に推移したことにより、増加。
- ◆ 資産運用収益は、好調な市況を受けて特別勘定の資産運用益が増加したことにより、増加。
- ◆ 経常利益は、一般勘定における有価証券売却益や利息及び配当金等収入が増加したものの、変額保険に係る責任準備金繰入額や保険金等支払金の増加により、減益。

(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比	
経常収益	2,705	3,239	+534	+19.7%
保険料等収入	2,207	2,545	+338	+15.3%
資産運用収益	481	677	+195	+40.6%
うち利息及び配当金等収入	325	353	+28	+8.6%
うち金銭の信託運用益	13	31	+18	+138.2%
うち有価証券売却益	1	36	+34	—
うち特別勘定資産運用益	140	247	+107	+76.2%
経常費用	2,528	3,087	+559	+22.1%
保険金等支払金	744	913	+169	+22.7%
責任準備金等繰入額	1,434	1,767	+333	+23.2%
資産運用費用	19	40	+20	+103.8%
事業費	275	306	+30	+11.1%
経常利益	176	151	△25	△14.4%
四半期純利益	117	102	△15	△13.1%

(億円)	15.3末	15.6末	前年度末比	
有価証券残高	65,437	67,233	+1,796	+2.7%
責任準備金残高	67,272	69,014	+1,741	+2.6%
純資産額	4,325	4,208	△117	△2.7%
その他有価証券評価差額金	1,181	1,108	△72	△6.1%
総資産額	73,013	74,945	+1,932	+2.6%
特別勘定資産	7,933	8,298	+365	+4.6%

ソニー生命 主要業績指標(単体)



(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	増減率
新契約高	11,358	13,242	+16.6%
解約・失効高	4,494	4,950	+10.1%
解約・失効率	1.15%	1.21%	+0.06pt
保有契約高	395,597	416,096	+5.2%
新契約年換算保険料	189	223	+18.2%
うち第三分野	37	39	+6.5%
保有契約年換算保険料	7,065	7,476	+5.8%
うち第三分野	1,689	1,748	+3.5%

<主な増減要因>

◆ 変額保険や家族収入保険の販売好調により、増加。

◆ 変額保険の販売好調により、増加。

(注) 新契約高、解約・失効高、解約・失効率、保有契約高、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	増減率
資産運用損益(一般勘定)	321	389	+21.2%
基礎利益	187	133	△28.9%
順ざや額	30	41	+36.7%

◆ 順ざや額は増加したものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額や保険金等支払金の増加により、減少。

	15.3末	15.6末	前年度末比
単体 ソルベンシー・マージン比率	2,555.0%	2,579.9%	+24.9pt

ソニー生命の業績(単体)①

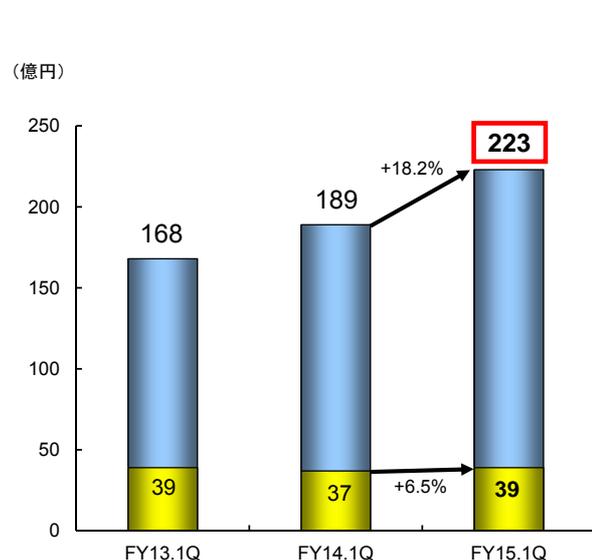
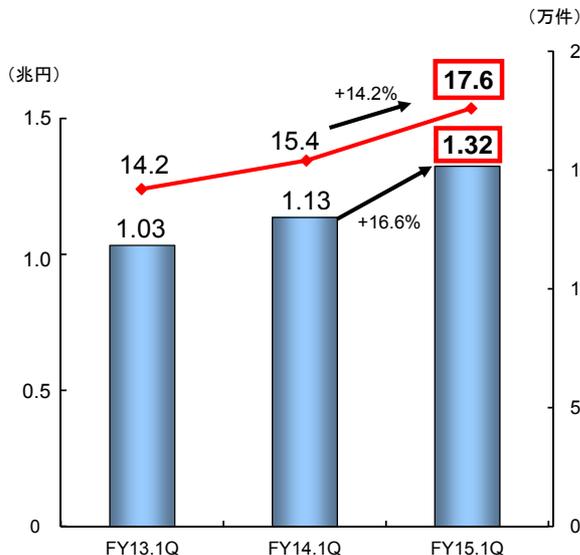


新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

新契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

■ 新契約高 — 新契約件数

■ 新契約年換算保険料 ■ うち、第三分野



ソニー生命の業績(単体) ②

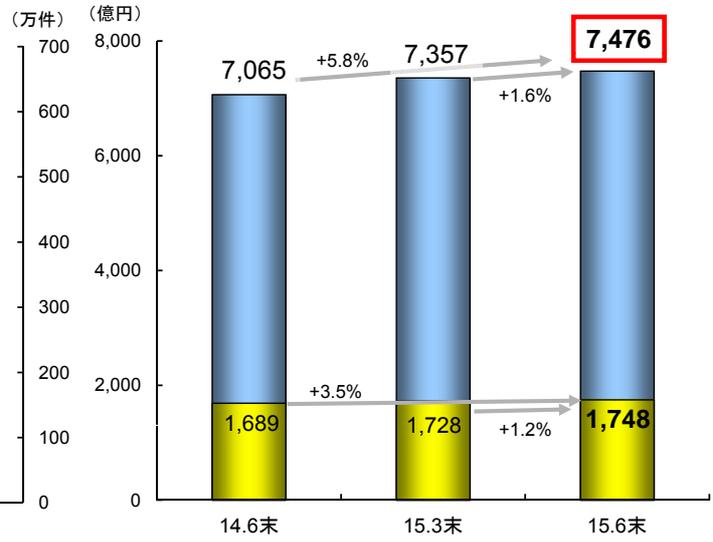
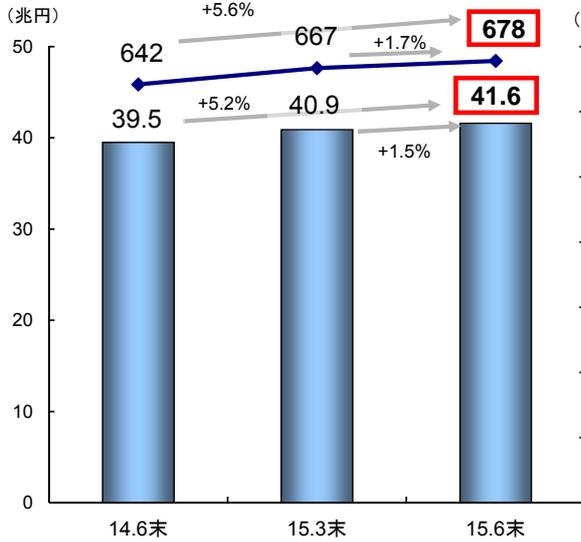


保有契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

保有契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

■ 保有契約高 — 保有契約件数

■ 保有契約年換算保険料 ■ うち、第三分野

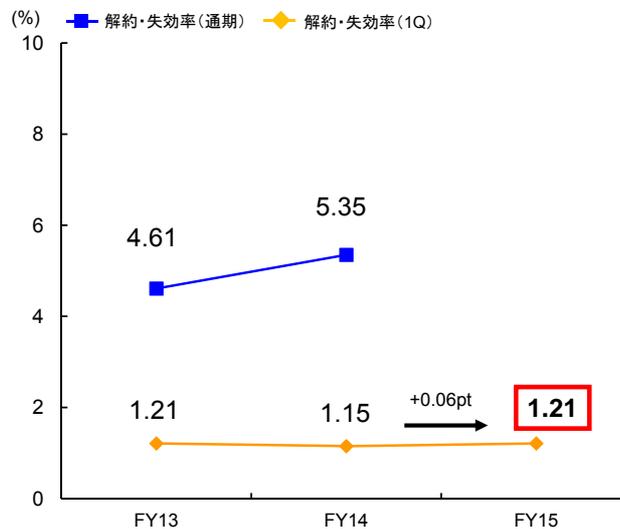


ソニー生命の業績(単体) ③



解約・失効率* (個人保険+個人年金保険)

* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない
解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率

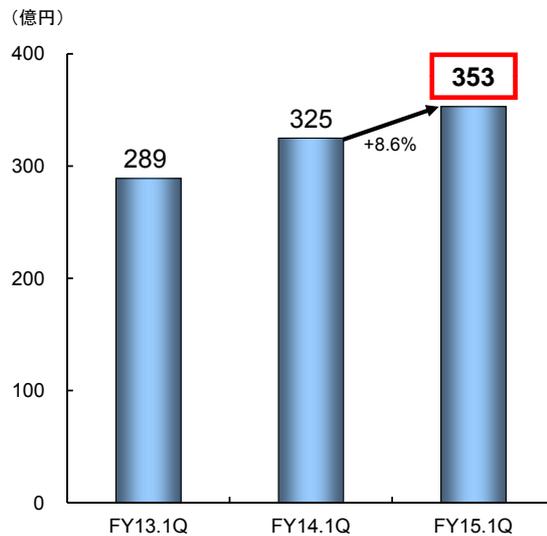
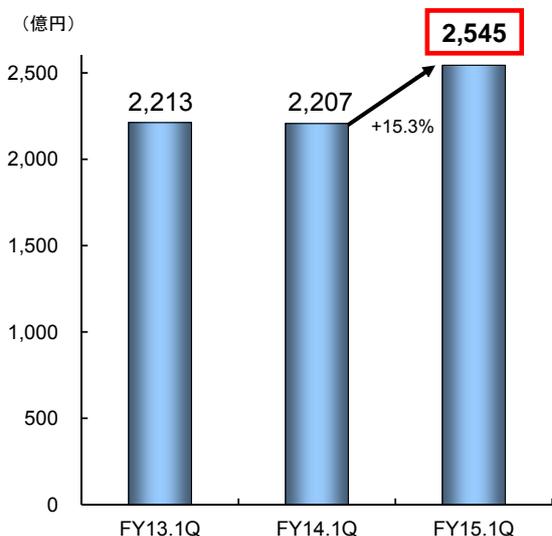


ソニー生命の業績(単体) ④



保険料等収入

利息及び配当金等収入

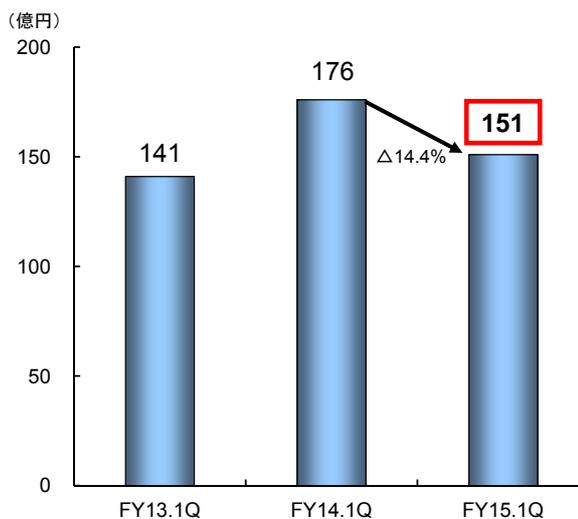
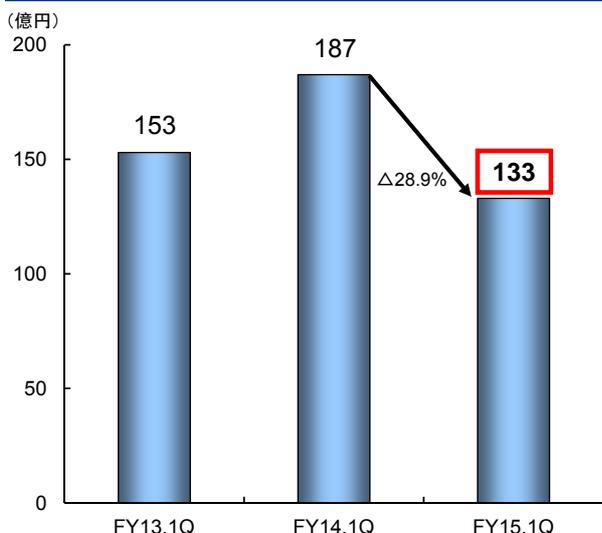


ソニー生命の業績(単体) ⑤



基礎利益

経常利益



(ご参考) 基礎利益へのインパクト (単位: 億円)

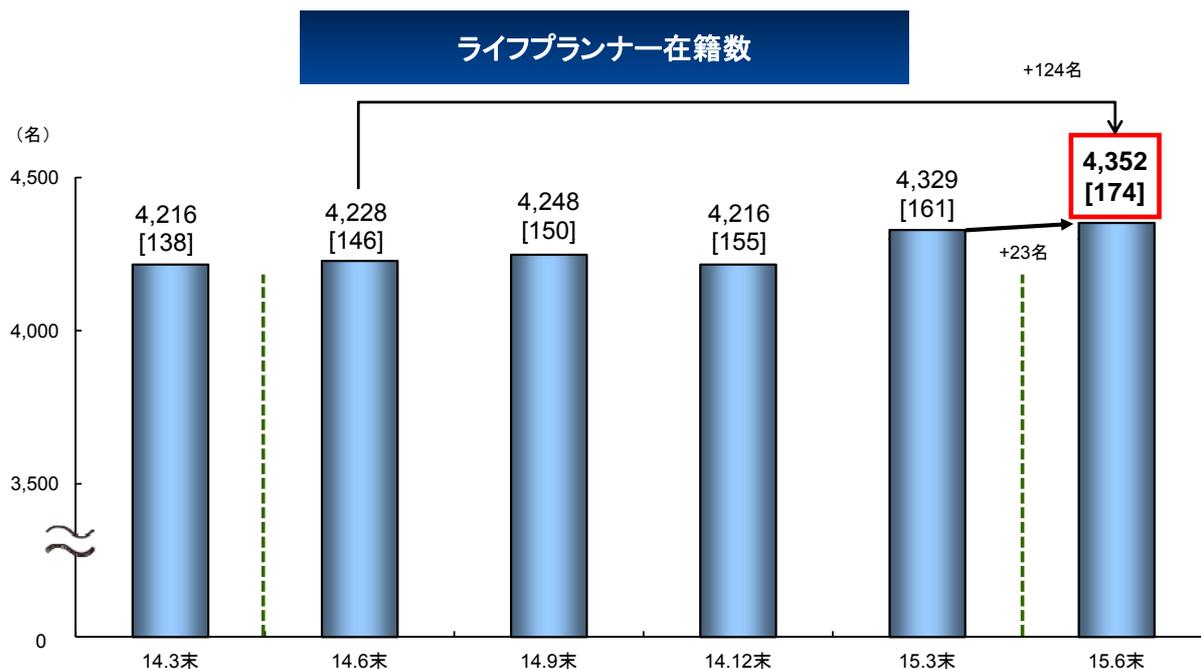
	FY13.1Q	FY14.1Q	FY15.1Q
順ざや額	12	30	41
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額(Δ)(注1)	Δ9	Δ21	Δ66
標準利率改定の影響(注2) (積立利率変動型終身保険関連分)	Δ57	-	-

(ご参考) 基礎利益からの主な差異 (単位: 億円)

	FY13.1Q	FY14.1Q	FY15.1Q
キャピタル損益(ヘッジ損益除く)(注1)	0	2	53
変額保険に係るヘッジ損益	-	-	Δ19
危険準備金繰入額(Δ)(注1)	Δ10	Δ12	Δ15

(注1) 変額保険の最低保証に係る責任準備金、危険準備金のマイナスは繰入額を表します。キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除きます。
 (注2) 2013年5月に保険料率改定を行った積立利率変動型終身保険における、料率改定前の販売増加による影響額を表します。

ソニー生命の業績(単体) ⑥



(注)[]は、嘱託ライフプランナー数と契約ライフプランナー数の合計で、内数です。
嘱託ライフプランナーおよび契約ライフプランナーとは、定年退職を迎えた後も、販売状況などの一定の要件を満たすことで、ライフプランナーとしての活動を続けている営業社員です。

ソニー生命の業績(単体) ⑦

一般勘定資産の内訳

(億円)	15.3末		15.6末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	56,068	86.2%	57,560	86.4%
株式	424	0.7%	438	0.7%
外国公社債	1,055	1.6%	1,003	1.5%
外国株式等	260	0.4%	262	0.4%
金銭の信託	3,132	4.8%	2,965	4.4%
約款貸付	1,623	2.5%	1,635	2.5%
不動産 ^(注)	1,177	1.8%	1,172	1.8%
現預金・コールローン	568	0.9%	589	0.9%
その他	767	1.2%	1,018	1.5%
合計	65,080	100.0%	66,646	100.0%

(注)「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

<資産運用状況>

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続

[債券のDuration]

2014. 3末 19.7年

2015. 3末 20.3年

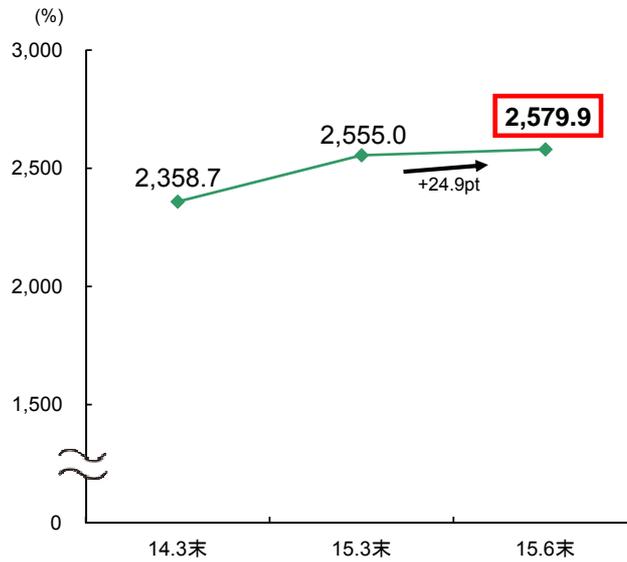
2015. 6末 20.1年

- 「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用。
- 一般勘定資産における公社債(金銭の信託で運用されているものを含む)の実質的な構成比
2015.6末・・・90.9%(2015.3末・・・91.0%)

ソニー生命の業績(単体) ⑧



単体ソルベンシー・マージン比率

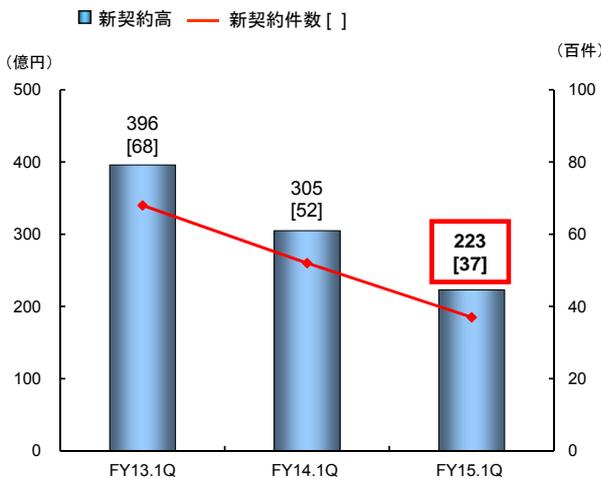


年金事業の業績

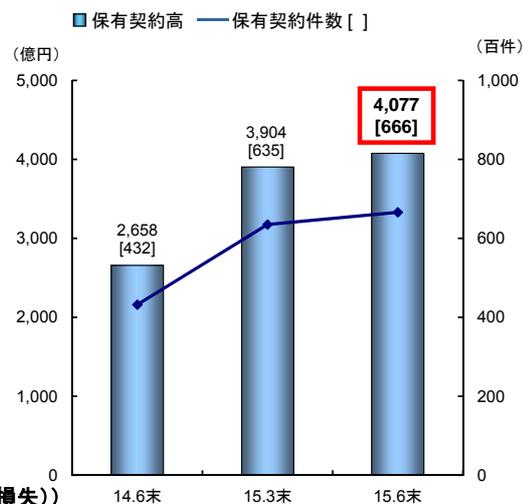


(ソニーライフ・エイゴン生命の新契約高及び保有契約高)

新契約高・件数



保有契約高・件数



(ソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの四半期純利益(△損失))

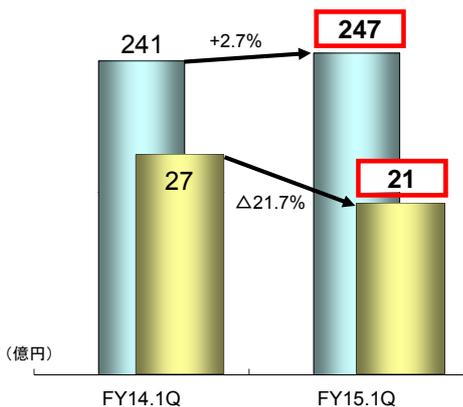
(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期差
ソニーライフ・エイゴン生命	△ 12	△ 2	+9
SA Reinsurance	7	△ 2	△ 9

注)ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資(50:50)による合併会社であり、SFHの持分法適用関連会社です。
SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠しています。SFHの親会社株主に帰属する四半期純利益には上記の金額に対する持分相当(50%)が反映されています。

ソニー損保 業績ハイライト



■ 経常収益 □ 経常利益



(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比	
経常収益	241	247	+6	+2.7%
保険引受収益	238	244	+6	+2.6%
資産運用収益	3	3	+0	+4.1%
経常費用	214	226	+12	+5.8%
保険引受費用	160	165	+5	+3.4%
資産運用費用	0	0	+0	—
営業費及び一般管理費	53	60	+6	+12.8%
経常利益	27	21	Δ5	Δ21.7%
四半期純利益	18	14	Δ3	Δ19.9%

- ◆ 前年同期比 経常収益は増収、経常利益は減益。
- ◆ 経常収益は、主力の自動車保険を中心に正味収入保険料が増加したことから、増加。
- ◆ 経常利益は、経常収益が増加したものの、事業費の増加などにより、減益。

(億円)	15.3末	15.6末	前年度末比	
責任準備金残高	865	897	+32	+3.7%
純資産額	247	263	+16	+6.5%
総資産額	1,579	1,599	+20	+1.3%

ソニー損保 主要業績指標



(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比
元受正味保険料	231	240	+4.2%
正味収入保険料	234	243	+4.0%
正味支払保険金	111	112	+0.9%
保険引受利益	24	18	Δ24.8%
正味損害率	54.7%	53.4%	Δ1.3pt
正味事業費率	24.4%	26.3%	+1.9pt
コンバインド・レシオ	79.1%	79.6%	+0.5pt

<主な増減要因>

◆ 主力の自動車保険を中心に増加。

◆ 正味事業費率は、主に広告宣伝費の増加により、上昇。

(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比
E.I. 損害率	58.0%	58.4%	+0.4pt
E.I. 損害率 + 正味事業費率	82.4%	84.7%	+2.3pt

◆ E.I. 損害率は、自動車保険の事故率が低位安定しているものの、支払備金戻入額の減少により、上昇。

(注) E.I. 損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料
 [除く地震保険、自賠責保険]

	15.3末	15.6末	前年度末比	
保有契約件数	170万件	172万件	+2万件	+1.6%
単体ソルベンシー・マージン比率	629.6%	655.1%	+25.5pt	

(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。

ソニー損保 種目別保険引受の状況



元受正味保険料

(百万円)	FY14.1Q	FY15.1Q	増減率
火 災	62	89	+42.4%
海 上	—	—	—
傷 害	2,134	2,156	+1.0%
自 動 車	20,920	21,840	+4.4%
自 賠 責	—	—	—
合計	23,117	24,086	+4.2%

正味収入保険料

(百万円)	FY14.1Q	FY15.1Q	増減率
火 災	8	13	+51.3%
海 上	50	11	△78.0%
傷 害	2,218	2,245	+1.2%
自 動 車	20,868	21,793	+4.4%
自 賠 責	289	311	+7.6%
合計	23,434	24,375	+4.0%

正味支払保険金

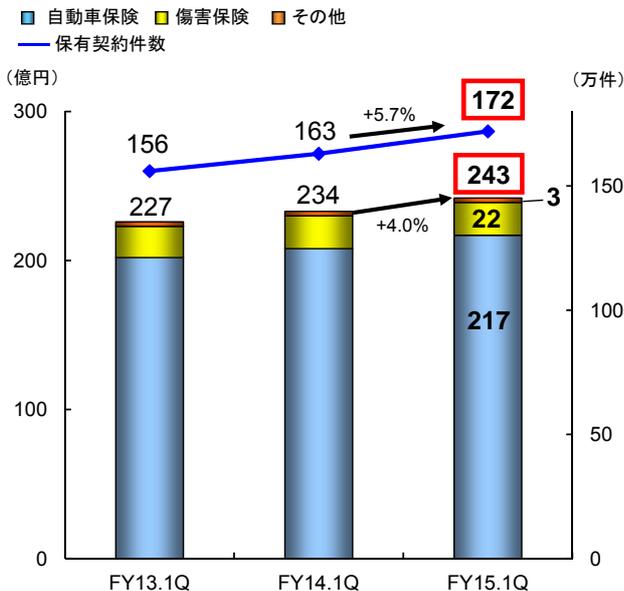
(百万円)	FY14.1Q	FY15.1Q	増減率
火 災	1	0	△92.7%
海 上	47	12	△74.6%
傷 害	541	593	+9.7%
自 動 車	10,288	10,359	+0.7%
自 賠 責	291	303	+4.0%
合計	11,170	11,268	+0.9%

(注)「傷害」にはガン重点医療保険が含まれる。

ソニー損保の業績①

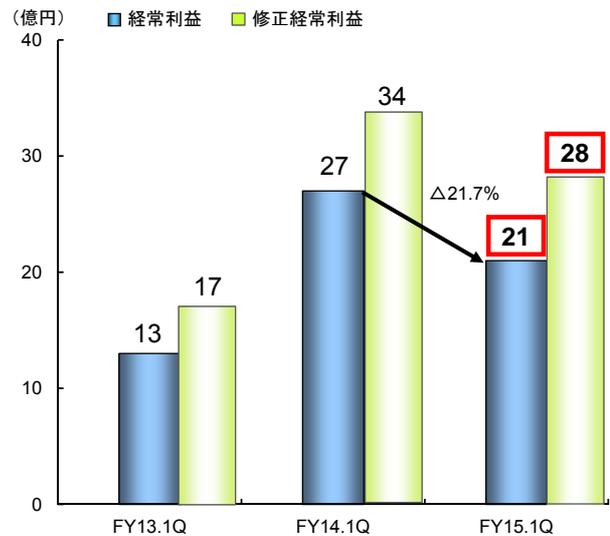


正味収入保険料と保有契約件数



(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。
両方で正味収入保険料の99%を占める。
傷害保険の9割以上が、ガン重点医療保険である。

経常利益と修正経常利益



※修正経常利益=経常利益+異常危険準備金繰入額

(ご参考) 異常危険準備金繰入状況

	FY13.1Q	FY14.1Q	FY15.1Q
異常危険準備金繰入額	—	+4	+7

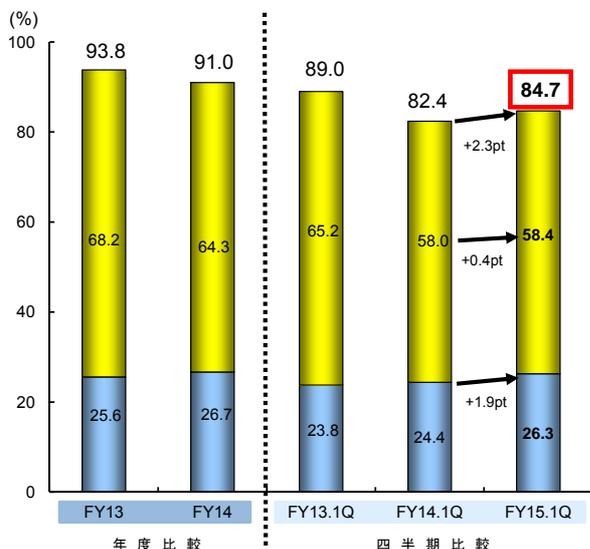
(注) 異常危険準備金繰入額のプラスは繰入額を表します。

ソニー損保の業績②



E.I.損害率 + 正味事業費率

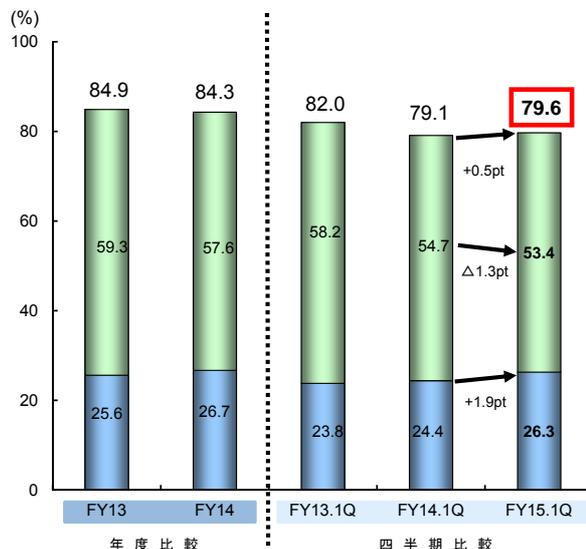
■ E.I.損害率 ■ 正味事業費率



(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料
[除く地震保険、自賠責保険]
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

<参考> コンバインド・レシオ (正味損害率 + 正味事業費率)

■ 正味損害率 ■ 正味事業費率

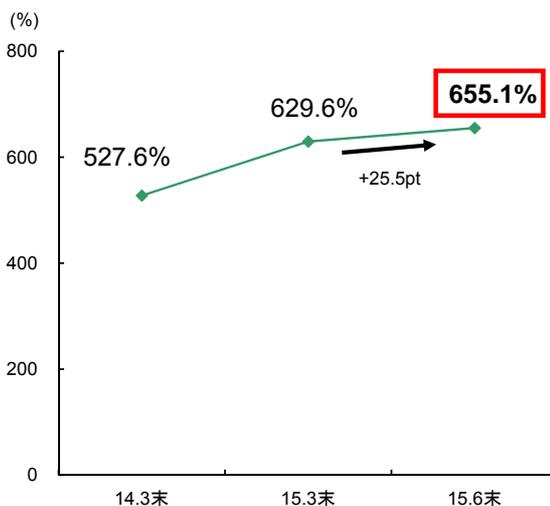


(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

ソニー損保の業績③



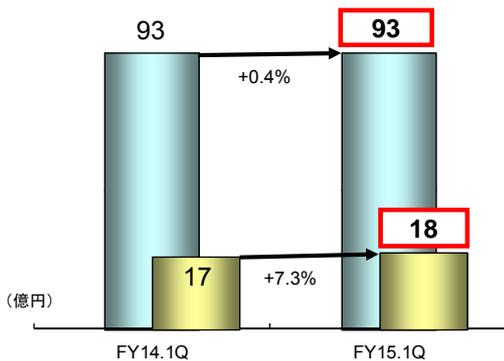
単体ソルベンシー・マージン比率



ソニー銀行 業績ハイライト(連結・単体)



□ 連結経常収益 □ 連結経常利益



<連結>

◆ 外貨関連取引および住宅ローンに係る収益が増加したことにより、経常収益、経常利益ともに増加。

<銀行単体>

◆ 業務粗利益・業務純益ともに増加。
 ・ 資金運用収支は減少。有価証券利息配当金が減少。
 ・ 役員取引等収支は増加。住宅ローンにかかる手数料収入が増加。
 ・ その他業務収支は増加。前年同期に債券売却益を計上した反動はあったものの、顧客の活発な外貨取引を背景に外国為替売買益が増加。

<連結>

(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比	
連結経常収益	93	93	+0	+0.4%
連結経常利益	17	18	+1	+7.3%
親会社株主に帰属する連結四半期純利益	11	12	+1	+12.6%

<銀行単体>

(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比	
経常収益	86	86	+0	+0.0%
業務粗利益	52	53	+0	+1.6%
資金運用収支	41	39	△1	△3.8%
役員取引等収支	△2	0	+2	—
その他業務収支	13	13	+0	+0.9%
営業経費	37	35	△1	△4.6%
業務純益	15	18	+2	+16.1%
経常利益	17	18	+1	+8.9%
四半期純利益	11	12	+1	+13.4%

(億円)	15.3末	15.6末	前年度末比	
純資産額	770	778	+7	+1.0%
その他有価証券評価差額金	66	59	△6	△9.7%
総資産額	20,625	20,556	△68	△0.3%

ソニー銀行 主要業績指標(単体)①



(億円)	14.6末	15.3末	15.6末	前年度末比	
預かり資産残高	19,500	20,079	20,011	△67	△0.3%
預金	18,297	18,782	18,722	△60	△0.3%
円預金	14,628	15,510	15,589	+78	+0.5%
外貨預金	3,669	3,272	3,133	△139	△4.3%
投資信託	1,202	1,296	1,289	△7	△0.6%
貸出金残高	10,716	11,871	12,260	+388	+3.3%
住宅ローン	9,627	10,743	11,112	+368	+3.4%
その他	1,089	1,128	1,147 ^{*1}	+19	+1.8%
自己資本比率 ^{*2} (国内基準)	11.68%	10.66%	10.56%	△0.10pt	

<主な増減要因>

◆ 円預金残高は、外貨預金からの振替えがあったものの、金利競争の高まりもあり、横ばい。

◆ 外貨預金は、為替相場の円安進行に伴う円預金への振替えが進み、残高は減少。

◆ 貸出金は、住宅ローンの伸びにより、残高増加。

*1 うち1,097億円は法人向け

*2 27ページの自己資本比率(国内基準)の推移ご参照

ソニー銀行 主要業績指標(単体)②



<参考> 社内管理ベース

(億円)	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比	
業務粗利益	52	53	+0	+1.6%
資金収支 ^{*1} ①	44	45	+0	+1.0%
手数料等収支 ^{*2} ②	Δ0	2	+3	—
その他収支 ^{*3}	8	5	Δ3	Δ37.0%
コアベース業務粗利益 (A) =①+②	44	48	+4	+9.2%
営業経費等 ③	36	35	Δ0	Δ1.5%
コアベース業務純益 =(A)-③	7	12	+4	+57.6%

■ 社内管理ベース

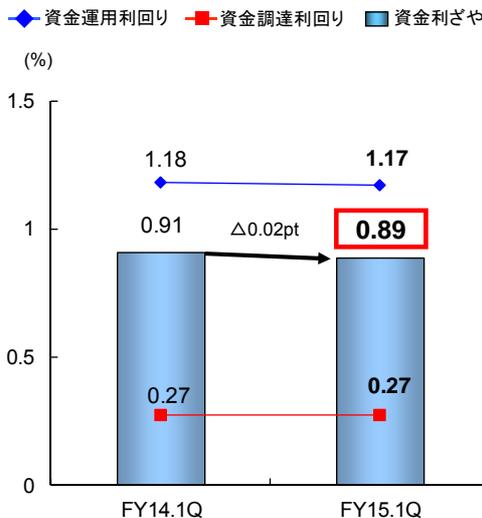
損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

- *1 資金収支 …… 資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
- *2 手数料等収支 … 役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- *3 その他収支 …… その他業務収支から*1と*2の調整分を控除したものの(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)

■ コアベース

社内管理ベースの その他収支(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な利益を表すもの

<参考> 資金利ざや(社内管理ベース)の推移



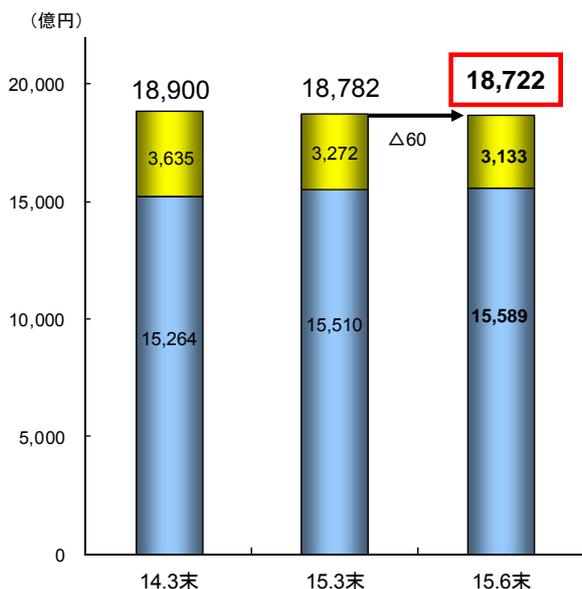
(注) 資金利ざや = 資金運用利回り - 資金調達利回り

ソニー銀行の業績(単体)①



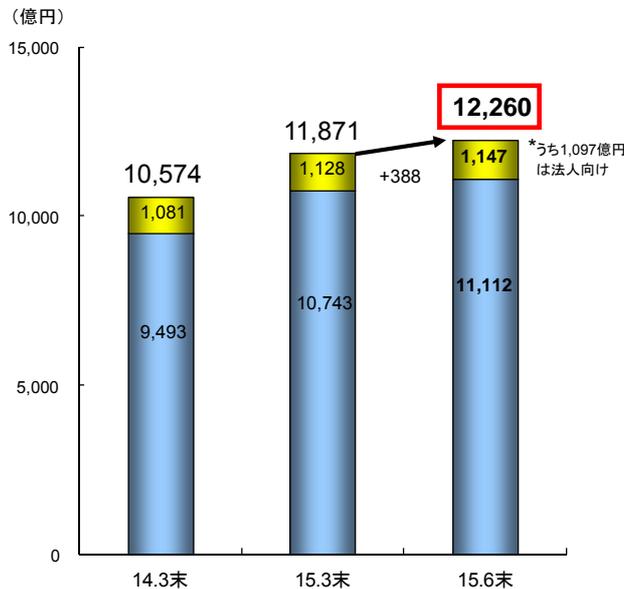
預金残高

■ 円預金 ■ 外貨預金



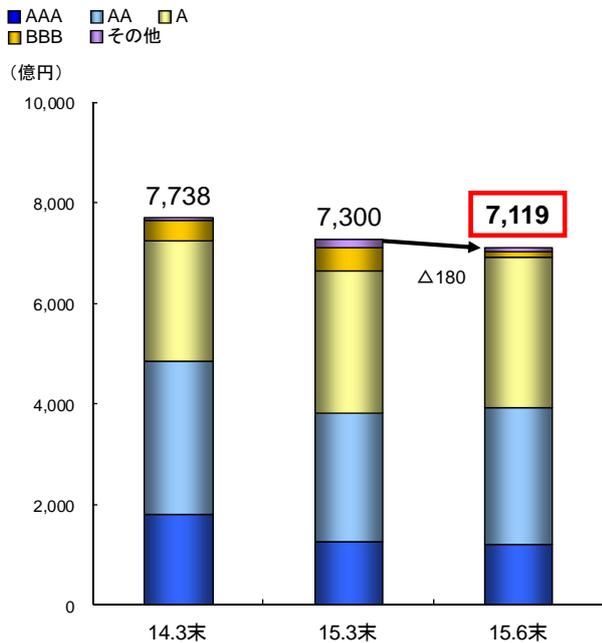
貸出金残高

■ 住宅ローン ■ その他

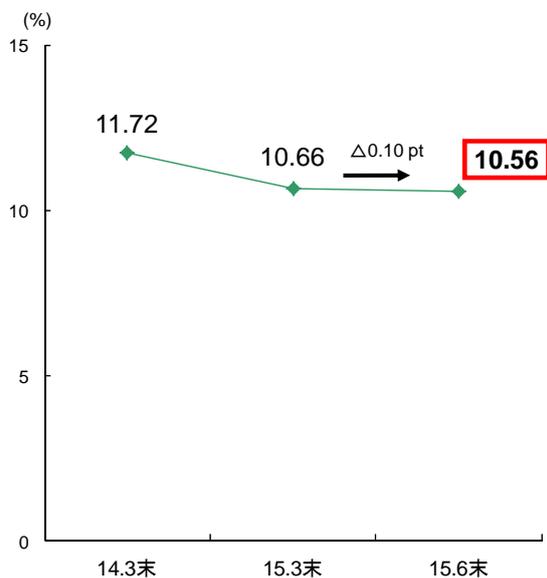


ソニー銀行の業績(単体)②

格付別の有価証券残高の推移



自己資本比率(国内基準)の推移



(注) 平成18年(2006年)金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準」に基づき算出している。
 なお、2014年3月末よりパーゼルⅢベースへ移行。

2015年度 連結業績予想

2015年度連結業績予想

連結業績予想については2015年4月30日に公表した数値から変更なし

(億円)	FY2014 (通期実績)	FY2015 (通期予想)	前年度比	FY15.1Q (3M実績)	進捗率
連結経常収益	13,523	13,000	△3.9%	3,573	27.5%
うち生命保険事業	12,239	11,680	△4.6%	3,239	27.7%
うち損害保険事業	930	971	+4.4%	247	25.5%
うち銀行事業	384	368	△4.2%	93	25.4%
連結経常利益	900	850	△5.6%	189	22.3%
うち生命保険事業	783	741	△5.4%	149	20.1%
うち損害保険事業	42	44	+4.5%	21	48.2%
うち銀行事業	73	64	△12.7%	18	29.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	544	570	+4.7%	128	22.5%

<各事業の経常収益・経常利益>

■生命保険事業

FY15.1Qの経常収益は、保険料等収入や特別勘定における資産運用収益の増加により期初の想定を上回りましたが、経常利益は、主として変額保険に係る責任準備金繰入額の増加により、期初の想定を下回りました。通期見通しについては、FY15.2Q以降の変額保険の販売動向や市況変動による利益への増減インパクトを勘案し、据え置きます。

■損害保険事業

FY15.1Qは、損害率が期初の想定以上に改善したものの、FY15.2Q以降、事業費の増加や自然災害などによる損害率の上昇が見込まれることから、通期見通しについては、据え置きます。

■銀行事業

FY15.1Qは、外貨関連取引および住宅ローンにかかる収益が増加したことにより、経常収益、経常利益ともに、期初の想定を上回りました。通期見通しについては、FY15.2Q以降のビジネスの動向や市場環境を見極めるため、据え置きます。

ソニー生命の2015年6月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

2015年6月末のMCEVの計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。
また、2015年6月末については、一部簡易な計算を実施しております。

ソニー生命の2015年6月末MCEV

(億円)	15.3末	15.6末	増減
MCEV	13,229	13,888	+660
修正純資産	11,192	10,171	△1,021
保有契約価値	2,037	3,718	+1,681

(億円)	15.3末	15.6末
新契約価値	486 (12カ月)	125 (3カ月)
新契約マージン	3.8%	3.2%

(注) 新契約マージンは「新契約価値 / 収入保険料現価」です。

(注) 2015年6月末の計算は、2015年3月末の前提条件から経済前提と解約・失効率をアップデート。

◆ MCEV増減要因

- ・2015年3月末に比べ、金利の上昇や新契約の獲得などにより、660億円増加。

◆ 新契約価値・新契約マージン

- ・2015年6月末の新契約価値は、3カ月で125億円(年換算500億円)。
- ・新契約マージンは、2015年3月末に比べ、金利は上昇しているものの、商品構成の変化の影響などにより、0.6ポイント低下。

*日本国債利回りの推移については、参考情報P.42をご覧ください。

ソニー生命の2015年6月末経済価値ベースのリスク量



(億円)	15.3末	15.6末
保険リスク	7,242	7,328
市場関連リスク	2,870	3,000
うち金利リスク*	2,185	2,277
オペレーショナルリスク	259	263
カウンターパーティリスク	18	21
分散効果	△2,934	△2,999
経済価値ベースのリスク量	7,455	7,612

*ただし、市場関連リスク内での分散効果考慮前

(億円)	15.3末	15.6末
MCEV	13,229	13,888
ESR	177%	182%

(注) 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク(保険リスク、市場関連リスク等)を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量です。

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、EUソルベンシー II (QIS5)の標準モデルを参考にした内部モデルを採用しています。

(注) ESRは「MCEV / 経済価値ベースのリスク量」です。

- ◆ 市場関連リスクを抑制することで、健全な水準を維持。



参考情報

その他トピックス①

ソニーライフ・エイゴン生命の概要

営業開始：2009年12月1日
 資本金：260億円(資本準備金130億円を含む)
 株主：ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%
 取扱商品：変額個人年金保険
 販売チャネル：ライフプランナー、および銀行等(計22社) * 2015年8月7日現在



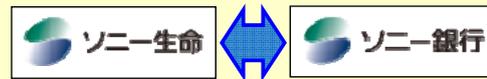
SA Reinsurance の概要

設立日：2009年10月29日
 資本金：110億円
 株主：ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%
 事業内容：再保険業

注)ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資(50:50)による合弁会社であり、持分法適用関連会社です。

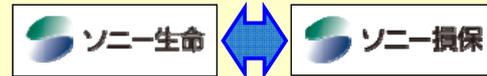
ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローンの取扱い状況

- 2015年6月末の住宅ローン残高の**22%**
 2015年度第1四半期の住宅ローン新規融資実行金額の**16%**
 ※銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

- 2015年度第1四半期の新規自動車保険契約件数の**約4%**
 ※自動車保険取扱い開始：2001年5月



その他トピックス②

<2015年度第1四半期以降の主な取組み>

2015年 4月 1日	生保	代表取締役社長の交代
2015年 4月 1日	生保	福井県に営業拠点(福井支社)を新設
2015年 4月 1日	銀行	ソニー銀行子会社のスマートリンクネットワーク、社名を「ソニーペイメントサービス株式会社」へ変更
2015年4月30日	介護	ゆうあいホールディングスへの資本参加等に関する契約締結
2015年5月 2日	生保	【新商品】「一時払終身保険(無告知型)」の発売
2015年6月 1日	銀行	「円定期 plus+」取り扱い開始
2015年6月 24日	銀行	代表取締役社長の交代
2015年7月 1日	損保	「熊本コンタクトセンター」業務開始
2015年7月 13日	銀行	新カードローン取り扱い開始

ソニー生命の保有する有価証券(一般勘定)



有価証券の時価情報

売買目的有価証券を除く有価証券の時価情報のうち、時価のあるもの

(億円)

区 分	14.3末			15.3末			15.6末		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
満期保有目的の債券	44,096	48,399	4,303	48,787	57,182	8,394	49,700	56,790	7,089
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	919	919	0
その他有価証券	10,655	11,898	1,243	10,078	11,766	1,688	9,670	11,226	1,555
公社債	10,359	11,467	1,108	9,746	11,201	1,455	9,360	10,682	1,322
株式	122	212	89	134	294	160	132	298	165
外国証券	158	194	35	194	264	69	176	242	66
その他の証券	14	25	10	3	6	3	1	3	1
合 計	54,751	60,298	5,547	58,866	68,949	10,083	60,290	68,936	8,646

(注1) 本表には、金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のものを含んでいます。

(注2) 上表の満期保有目的の債券には、デリバティブを組み込んだ金融商品(元本確保型クーポン日経平均連動30年債)が含まれております。各期における金額は以下の通りです。

2014年3月末時点 帳簿価格438億円 時価560億円 差益122億円
 2015年3月末時点 帳簿価格442億円 時価575億円 差益132億円
 2015年6月末時点 帳簿価格364億円 時価455億円 差益91億円

売買目的有価証券の評価損益

(億円)

14.3末		15.3末		15.6末	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益
-	-	10	0	29	△0

(注) 本表には、金銭の信託等の売買目的有価証券を含んでいます。

ソニー生命の利配収入内訳



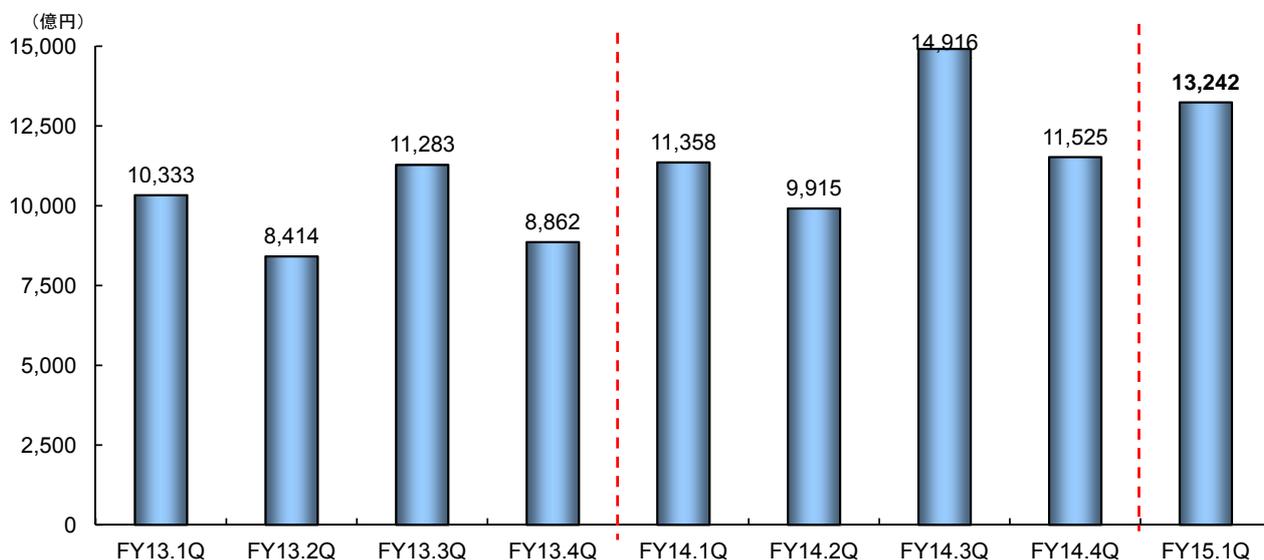
(百万円)

	FY14.1Q	FY15.1Q	前年同期比
現預金	0	0	+212.6%
公社債	26,173	27,811	+6.3%
株式	63	79	+24.2%
外国証券	2,230	2,334	+4.7%
その他の証券	56	1,036	—
貸付	1,457	1,512	+3.8%
不動産	2,570	2,570	+0.0%
その他	5	18	+215.3%
合計	32,557	35,363	+8.6%

ソニー生命の新契約高の四半期推移



新契約高の四半期(3ヶ月)ごとの推移

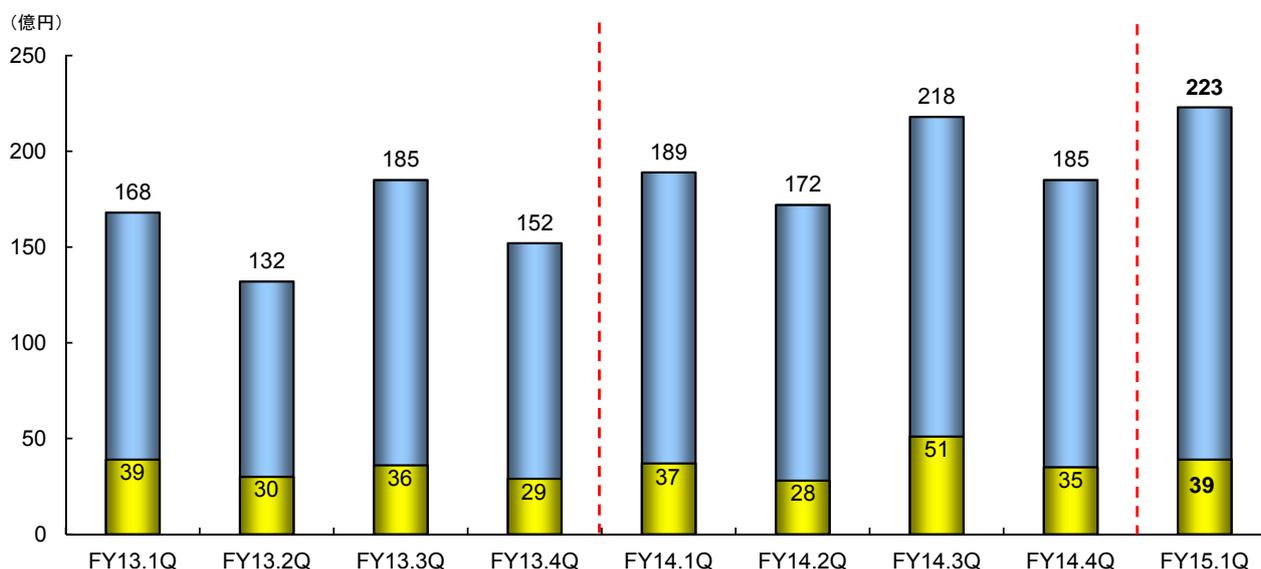


ソニー生命の新契約年換算保険料の四半期推移



新契約年換算保険料の四半期(3ヶ月)ごとの推移

■ 新契約年換算保険料 ■ うち、第三分野



経済価値ベースのリスクの測定方法①



■ 市場関連リスク 注1

	ソニー生命	(参考) EUソルベンシー II (QIS5)
金利リスク 右のShockを与えた時の、 経済価値純資産の変動 以下同じ。	年限と通貨ごとに異なる金利の変化率を設定。 但し、円金利は主成分分析を用いて、3つの変動要因。 (パラレルシフト、カーブのフラット化、曲がり)に分解して計測。 (例) 円30年における、それぞれの変化率は、△33%、△28%、△8%。	年限ごとに異なる金利の変化率を設定。 但し、最低下落幅は1% (例) 円30年における、変化率は△30%。
株式リスク	上場株式 45% その他証券 70%	Global 30% Others 40% <small>注2</small>
不動産投資リスク	不動産 25%	不動産 25%
信用リスク	信用リスク=(時価)×(格付毎のリスク係数)×デューレーション 尚、デューレーションには格付けにより、キャップとフロアーがある。 (例) A格:リスク係数(1.4%)、キャップ(23)、フロアー(1)	同左
為替リスク	不利な方向へ30%変化。	不利な方向へ25%変化。

注1 2015年6月末現在、主要な項目。

注2 標準リスク係数はGlobal:39%/Other:49%。symmetric adjustment(過去一定期間の株価インデックスの平均値を基準として±10%以内で加える調整)が適用され、QIS5試行時点(2009年12月末)は30%/40%。

経済価値ベースのリスクの測定方法②



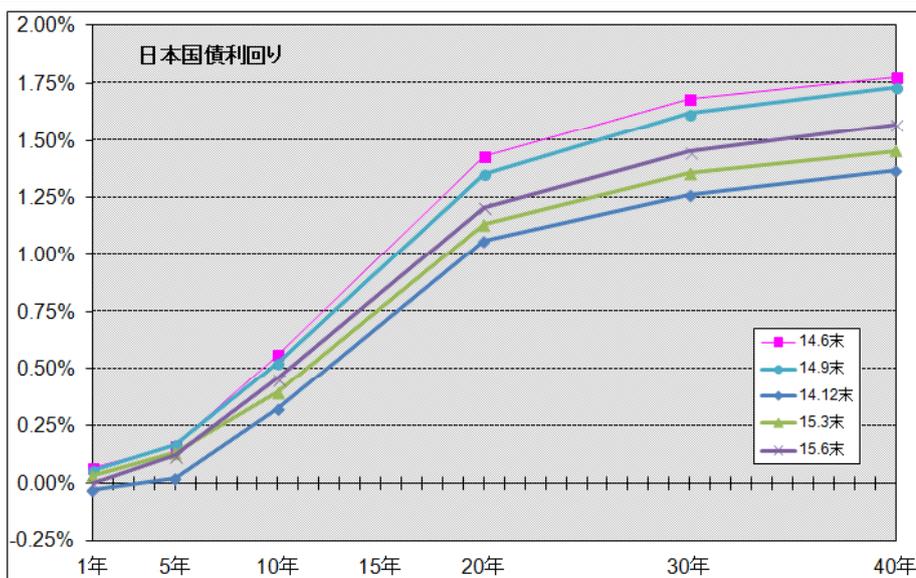
■ 保険リスク 注1

	ソニー生命	(参考) EUソルベンシー II (QIS5)
死亡リスク	各経過年の死亡率が15%増加。	同左
生存リスク	各経過年の死亡率が20%減少。	同左
解約リスク	・各経過年の解約率が50%増加。 ・各経過年の解約率が50%減少。 ・解約返戻金が最良推定負債を上回る契約の30%が、直ちに解約。 これらの最大値 ^{注2} 。	・Life区分50%増加、Health区分20%増加 ・Life区分50%減少、Health区分20%減少 ・解約返戻金が最良推定負債を上回る契約の30%(団体年金等は70%)が、直ちに解約。 これらの最大値。
事業費リスク	各経過年の事業費が10%増加。 インフレ率が1%上昇。	同左
疾病リスク	発生率が初年度35%増加、次年度以降25%増加。	発生率が初年度35%増加、次年度以降25%増加。 回復率が20%減少。

注1 2015年6月末現在、主要な項目。

注2 ソニー生命は個別契約毎の大小比較を実施。

日本国債利回りの推移



日本国債利回り	14.6末	14.9末	14.12末	15.3末	15.6末	15.3末 →15.6末
1年	0.07%	0.06%	-0.03%	0.03%	0.00%	-0.03%
5年	0.16%	0.17%	0.02%	0.13%	0.12%	-0.01%
10年	0.56%	0.52%	0.32%	0.40%	0.46%	0.06%
20年	1.43%	1.35%	1.06%	1.14%	1.21%	0.07%
30年	1.68%	1.62%	1.27%	1.36%	1.45%	0.09%
40年	1.78%	1.73%	1.37%	1.46%	1.57%	0.12%



お問い合わせ先:
ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
広報・IR部
TEL: 03-5785-1074